

2023年8月31日

霞ヶ関キャピタル株式会社に対する 「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン」の取扱いについて

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2023年8月31日（木）、霞ヶ関キャピタル株式会社（代表取締役社長 河本 幸士郎、東京都千代田区）に対し、「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン」（以下、「SLL」）の取扱いを行いましたので、お知らせします。

SLLは、お客さまがSDGsやESGに関連する事業挑戦目標であるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPT^{注1}）を設定し、その達成状況に応じ金利など融資条件が変動する仕組みの融資商品です。

霞ヶ関キャピタル株式会社は、2011年創業以来「その課題を、価値へ。」の経営理念のもと、物流施設・ホテル・ヘルスケア関連施設を中心とした不動産コンサルティング業を営んでいる東証グロース市場上場企業です。同社は、事業活動を通じ、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に貢献するため積極的な取組みを展開しており、特に近年では環境性能の高い物流施設の開発に注力しています。

環境性能の高い物流施設の拡大を図るためのフレームワークとして「各年度に竣工となった全物流施設に対する環境認証で、Aランクまたは4つ星以上の認証ランクを取得すること」^{注2}をSPTとして設定しており、本件は同フレームワークを活用してSLLの実行を行いました。

当行は、今後もサステナビリティ金融への積極的な取組みを通じ、取引先のサステナビリティ経営を後押しし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

注1 サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットの略。環境・社会・経済に対するお客さまの事業活動による影響を考慮した「サステナビリティ戦略」と整合した目標をいいます。

注2 グリーンビルディング認証の一つであるCASBEEまたはDBJGreenBuildingを想定しており、前者におけるAランク、後者における4つ星以上の水準は標準的レベルを超え、建物性能として上位30%程度の相当する水準となります。

《概要》

企業名	霞ヶ関キャピタル 株式会社
代表者	代表取締役 河本 幸士郎
所在地	東京都千代田区霞が関3-2-1
業種および 事業内容	不動産コンサルティング事業 物流施設等の開発及び不動産ファンドの組成・運用コンサルティング
契約締結日	2023年8月31日（木）
融資金額	2億円
資金使途	運転資金
事業挑戦目標	各年度に竣工となった全物流施設に対する環境認証で、 Aランクまたは4つ星以上の認証ランクを取得する
第三者評価機関	株式会社格付投資情報センター

次ページへ



<参考>むさしのサステナビリティ・リンク・ローンのスキーム図



以上

報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 法人営業グループ 崎谷 健史・岡村 尚典
TEL (048) 641 - 6111 (代)